表.4

表.1

HOSHIKAWA ★ Vision



Vision for the future of the Hoshikawa area.

星川将来ビジョン

水辺の日常（とき）、ヒカル街

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.



はじめに

星川通りは、「うちわ祭」、「とうろう流し」、「えびす祭」や「だるま市」など、四季折々の伝統行事の舞台となっています。
また、星川の空間を利用して、「こいのぼり」や「イルミネーション」を設置したり、「星川夜市」が開催されたりしているほか、「川床」や「花のプランター」を設置するなど、様々な主体によって、様々な取組が行われています。

令和4年には、一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）のまちなか再生アドバイザー（大学教授やまちづくりの専門家）が、星川周辺地区を視察し、今後のまちづくりに向けたアドバイスや意見をいただく機会がありました。
そのなかで、「星川地区にはポテンシャルがあると思う。」、「星川では様々な取組が行われているが、この地区としての長期的な方向性やビジョンを定めて地域で共有し、個別の取組につなげていく必要がある。」などの意見をいただきました。

熊谷市としても、ビジョンの共有は必要であると考え、作成に当たっては、行政（市役所）だけで作るのではなく、地区の方々をはじめ、地域の学生やまちづくりに関わっている多くの方々のご意見を聴き、一緒に議論を重ね、ビジョンづくりに取り組んできました。

こうして出来上がった「星川将来ビジョン」は第1版であり、今後、より多くの皆さん方と意見交換をしながら、第2版、第3版へとブラッシュアップしていければ幸いです。

このビジョンを皆さんで共有し、個々の活動の指針とすることで、居心地が良く歩きたくなる新たな星川の姿となっていくことを願っています。

星川将来ビジョン編集委員会

星川将来ビジョン

水辺の日常（とき）、ヒカル街

AREA CONCEPT

Vision for the future of the Hoshikawa area.

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

Chapter1

〔 背景と目的 〕

・ビジョン策定の背景
・策定の目的
・位置付け

Chapter2

〔 星川周辺の現状 〕

・エリアの状況
・現状把握

—— 人口の推移
—— 高齢化率の推移
—— 空き家・空き店舗・空き地・駐車場の現状
—— 歩行者・自転車交通量
—— 星川周辺の新しい動き

Chapter3

〔 ビジョンづくりの向けての課題・価値の整理 〕

・みんなの意見を集めてみよう!

—— ワークショップ
—— ヒアリング
—— アンケート

・みんなの意見を整理してみよう!
・結果を見てみよう!

—— カテゴリー
—— 価値・課題
—— にぎわいの在り方

Chapter4

〔 エリアの目指す姿 〕

・目指す姿
・ヒカル街の6つのテーマ

—— 川と触れ合える
—— 時間を過ごせる
—— 新しい活動が生まれる
—— 涼を楽しめる
—— 誰でも訪れやすい
—— まちを知れる

Chapter5

〔 ビジョンを実現するためのアクション 〕

・ビジョンを実現していくための動き方
・アクションのアイデア集
・資源を活用してアクションをおこそう

—— 星川通り
—— 星渓園
—— 市有施設
—— 市営本町駐車場

・タイムスケジュール
・星川の将来のまちづくりに向けた財源の検討

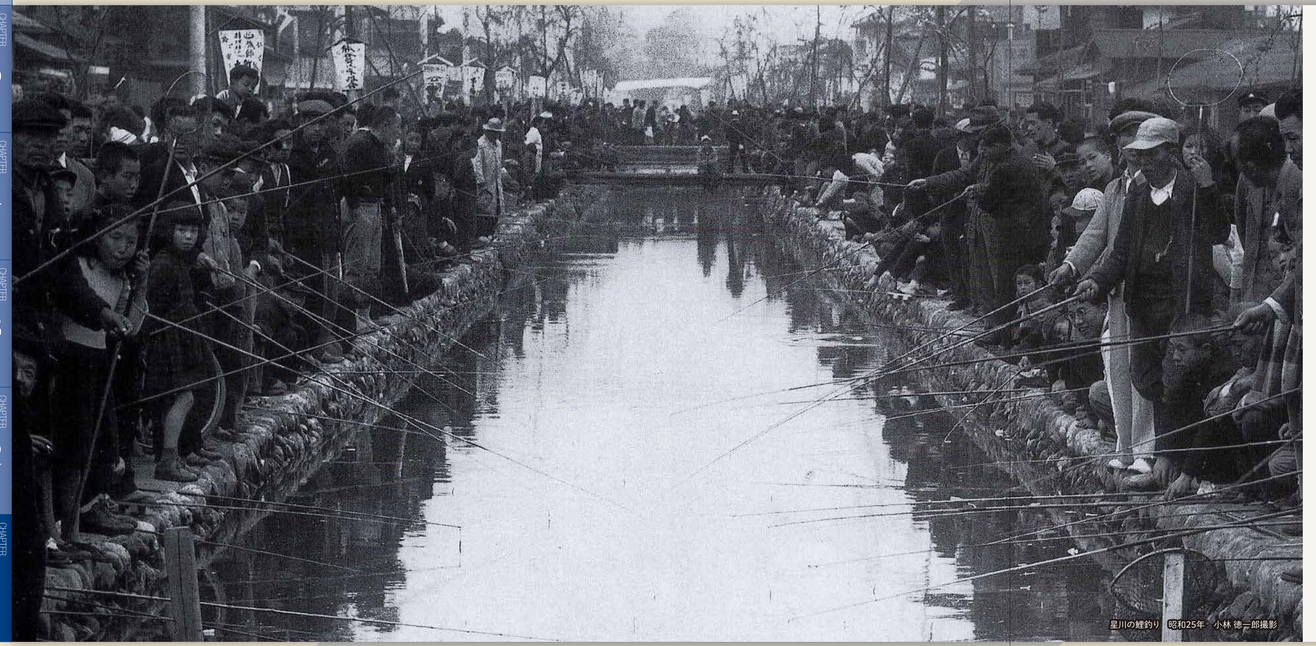
01

Chapter 1

背景と目的

Vision for the future of the Hoshikawa area.

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.



星川の鯉釣り　昭和25年　小林 徳一郎撮影

ビジョン策定の背景

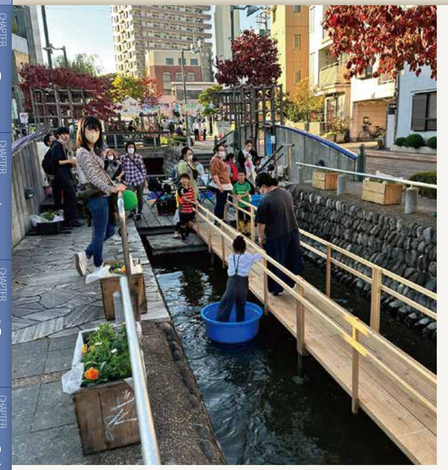
市民に親しまれてきた星川

星川は、元和9年（1623）の荒川の氾濫によりできた「玉の池」（現・星渓園）からわき出る清流を源としていました。水が非常に清く、染物を洗ったり、子供たちが水遊びをしたといわれています。

そして、現在ある星川は再生によるものです。
昭和20年8月14日深夜、米軍による太平洋戦争最後の空襲が行われ、市街地の3分の2が焼き尽くされ、特に星川付近の被害は甚大でした。現在も続く『とうろう流し』は犠牲になった人々の霊を慰めるために、昭和25年から始まりました。
そこから星川エリアは力強く復興しました。戦災復興土地区画整理事業により整備された街並みに多くの商店が立ち並び、大変なにぎわいがありました。高度経済成長期の頃には、市内最大の繁華街で、星川のまちに出かけるのは「ハレの日」であった時代もありました。

熊谷市では、まちの玄関としてふさわしい顔づくり、文化の香り漂う市民のオアシスとして、市街地の中央を流れる星川の景観整備を進めてきました。
昭和50年から星川に重ねるように複数の広場を設け、彫刻像を設置しました。これらは「水と緑と彫刻のプロムナード」として広く親しまれ、平成7年以降は「星川シンボルロード」として親水空間の整備や修景を加えつつ、現在まで大切にされています。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.



（注）平成30年度に埼玉県の「NEXT商店街プロジェクト」に採択され、月一回のナイトマルシェ「星川夜市」がスタートし、酒屋をリノベーションした「シェアカフェ」や、毛糸屋をリノベーションした棚貸し書店、「太原堂」が開業したり、市民ワークショップを開催し星川に滞留を促すための社会実験を行うなど、民間主体によるまちづくりが行われてきました。また、熊谷駅のコンコースに駅ピアノが開設したり、星川を花いっぱいの居心地のいい場所にして活動「花活＊星川」がスタートするなど、民間のプレーヤーによる新たなまちづくりの機運が高まりを見せています。

ビジョン策定の背景

市民の日常に星川を取り戻す 新たなまちなか再生へ

現在、多くの地方都市ではまちなかの衰退が著しく、星川エリアも、消費者の購買行動の変化などによる影響をまぬがれてはいません。青空駐車場の増加によって商店街の連続性に欠け、人の流れも減少しています。

しかし、星川との日常的なつながりが弱くなっていることを残念に思っている方は多くいます。往年の星川を懐かしむだけでなく、年間を通したイベント・祭事の開催などにより広域来訪が多い星川エリアは、現在も多くの市民や来街者にとって共通の魅力ある風景であり続けています。

そして、そのような気持ちに呼応するように、近年、民間のプレーヤーによる新たなまちづくりの機運が高まりを見せていることも見逃せません。民間のプレーヤーが新たなつながりを形成し、親水空間、景観などの蓄積から新たな魅力を引き出す様子は、近年のコロナ禍の逆風の中でも、着実に「星川のある日常」への気持ちを育んできました。（注）

また同時に、星川エリアは多様な交通手段をつなぐ結節点として、引き続き熊谷市の都市構造の中でも重要な位置を占めています。市では令和4年に策定した立地適正化計画により中心部に都市機能を維持することと、徒歩を含む様々な交通手段で多くの市民・来訪者がその都市機能を利用できるようにすることを車の両輪と位置付けており、熊谷駅と中心市街地の西の商業核の間に位置する星川エリアの姿は、熊谷市の活力を維持する上での重要事項の一つです。

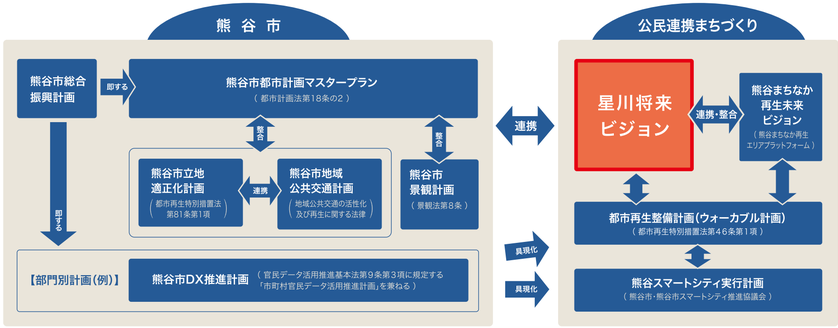
市民の星川への思いや新たなつながり、星川ならではの歴史・文化や貴重な水辺空間などを、市民の日常に星川を取り戻す「再生」に結びつけることが、市がまちなかに必要とする機能を維持することにもつながり、穏やかだが幸せな再生シナリオが今なら描けるのではないか。

そのような考えの下で星川将来ビジョンは生まれました。

ビジョン策定の目的

官民による新たなまちづくりを推進するための道しるべとして、エリアの将来像、ビジョンを共有する。新しいプレーヤーが活躍できるよう支援する体制を整えるとともに、新たなチャレンジに官民が連携して取り組み、様々な活動を推進していくことで、穏やかなにぎわいを創出し、熊谷らしい暮らし方、スタイルを確立することを目指していきます。

ビジョンの位置づけ



星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

Chapter 2

星川周辺の現状

02

Vision for the future of the Hoshikawa area.

Copyright © HASHIGO DESIGN, All Rights Reserved.



エリアの状況

人口減少率と高齢化率

市全体の人口減少率と比較すると、星川周辺の人口減少率は低く、高齢化率については、これまで市全体よりも高い数値でしたが、近年のマンション建設により、令和5年では低くなっています。

空き店舗数と用途転用

星川周辺の空き店舗数は減少傾向ですが、新たに店舗が開店する件数は限られており、店舗から住宅や駐車場への転用が主であることから、商店街の連続性が失われている状況が続いています。

歩行者・自転車交通量

歩行者・自転車交通量は、コロナ禍を経て、増加傾向ですが、休日は緩やかな増加にとどまっています。その理由としては、郊外の駐車場を備えた大規模小売店舗の立地や、EC市場（インターネット上で商品やサービスの売買を行う電子商取引）の拡大などにより、星川周辺への来訪機会の減少が影響していると思われます。

活用可能な公共財産

熊谷駅から星川周辺には、FREE Wi-fiの設置のほか、彫刻の設置された広場やお祭り広場のある星川通り、星溪園、市営本町駐車場や市に遺贈された建物など、まちの賑わいのために活用可能な公共財産が存在しています。

イベントなどの活用事例

星川周辺では、「星川夜市」などの定期的なイベントが開催され、また、西側エリアでは空き店舗などがリノベーションされ、新たな店舗として開店しています。さらに、道路・水路などの公共空間を占用した活用事例が見受けられます。

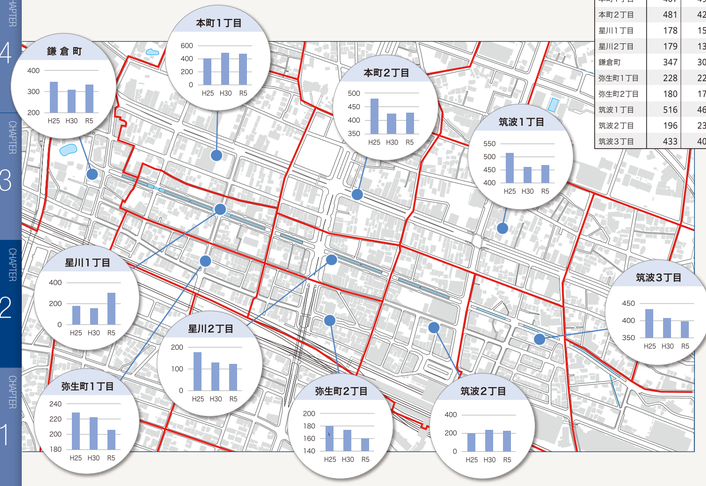
星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

現状把握

熊谷駅周辺(星川周辺)の 人口の推移

	人口				世帯数			
	H25	H30	R5	H25-R5 増減	H25	H30	R5	H25-R5 増減
熊谷市全体	203,327	198,824	193,132	-5.0%	82,305	85,773	89,090	8.2%
星川周辺	3,145	3,020	3,133	-0.4%	1,545	1,539	1,676	8.5%
本町1丁目	407	494	479	17.7%	183	231	246	34.4%
本町2丁目	481	425	428	-11.0%	216	192	204	-5.6%
星川1丁目	178	157	305	71.3%	79	68	149	88.6%
星川2丁目	179	131	122	-31.8%	80	65	69	-13.8%
鎌倉町	347	309	334	-3.7%	195	171	190	-2.6%
弥生町1丁目	228	222	206	-9.6%	130	137	132	1.5%
弥生町2丁目	180	174	160	-11.1%	96	102	104	8.3%
筑波1丁目	516	462	470	-8.9%	247	241	247	0.0%
筑波2丁目	196	239	231	17.9%	103	123	123	19.4%
筑波3丁目	433	407	398	-8.1%	216	209	212	-1.9%

出典：埼玉県町丁目別人口・世帯数(各年1月1日)



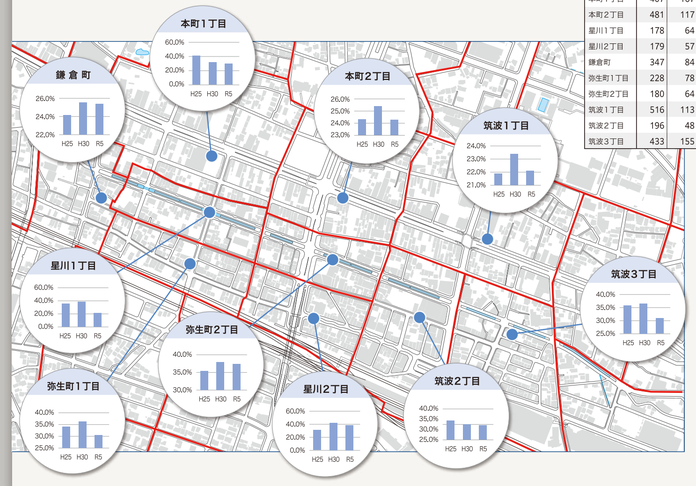
令和5年と平成25年を比較し、人口が増加している本町1丁目、星川1丁目、筑波2丁目は、その間に10階を超える高層マンションが立地しています。他の多くのエリアにも平成25年以前に高層マンションが立地していますが、この10年で人口が減少している状況となっています。

現状把握

熊谷駅周辺(星川周辺)の 高齢化率の推移

	H25			H30			R5		
	人口	65歳以上	高齢化率	人口	65歳以上	高齢化率	人口	65歳以上	高齢化率
熊谷市全体	203,327	47,174	23.2%	198,824	54,999	27.7%	193,132	58,289	30.2%
星川周辺	3,145	947	30.1%	3,020	911	30.2%	3,133	839	26.8%
本町1丁目	407	167	41.0%	494	158	32.0%	479	144	30.1%
本町2丁目	481	117	24.3%	425	108	25.4%	428	104	24.3%
星川1丁目	178	64	36.0%	157	60	38.2%	305	65	21.3%
星川2丁目	179	57	31.8%	131	55	42.0%	122	48	39.3%
鎌倉町	347	84	24.2%	309	79	25.6%	334	85	25.4%
弥生町1丁目	228	78	34.2%	222	81	36.5%	206	63	30.6%
弥生町2丁目	180	64	35.6%	174	66	37.9%	160	60	37.5%
筑波1丁目	516	113	21.9%	462	108	23.4%	470	104	22.1%
筑波2丁目	196	48	24.5%	239	47	19.7%	231	43	18.6%
筑波3丁目	433	155	35.8%	407	149	36.6%	398	123	30.9%

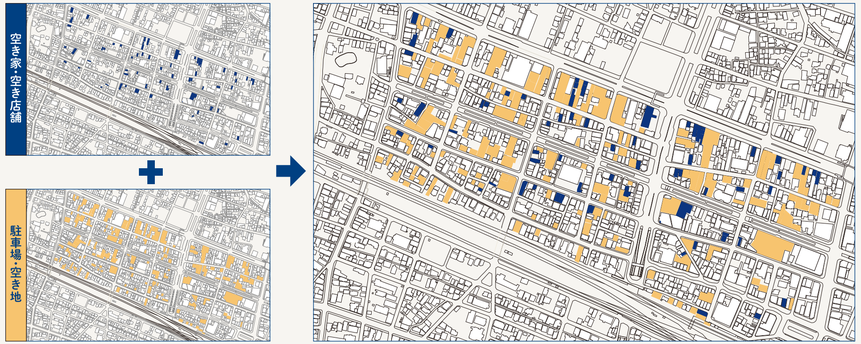
出典：埼玉県町丁目別人口・世帯数(各年1月1日)



令和5年では、市の高齢化率30.2%を下回っているエリアが多いですが、10階を超える高層マンションが立地していない星川2丁目、弥生2丁目は40%に迫る高い高齢化率となっています。

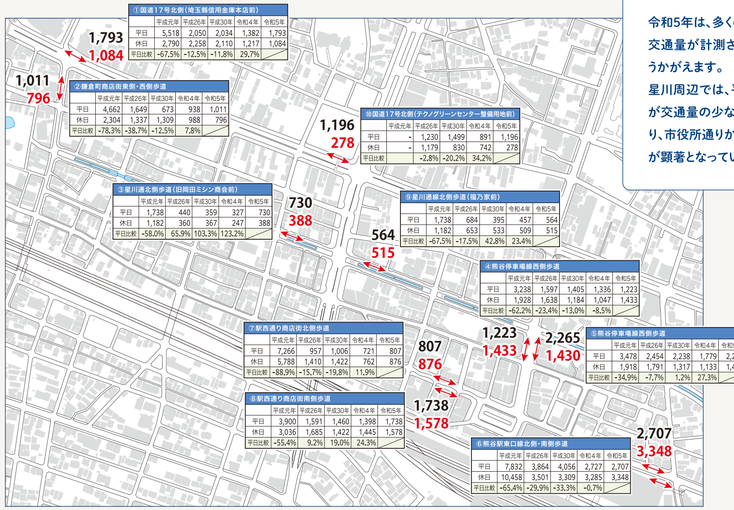
星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

空き家・空き店舗・空き地・駐車場の現状



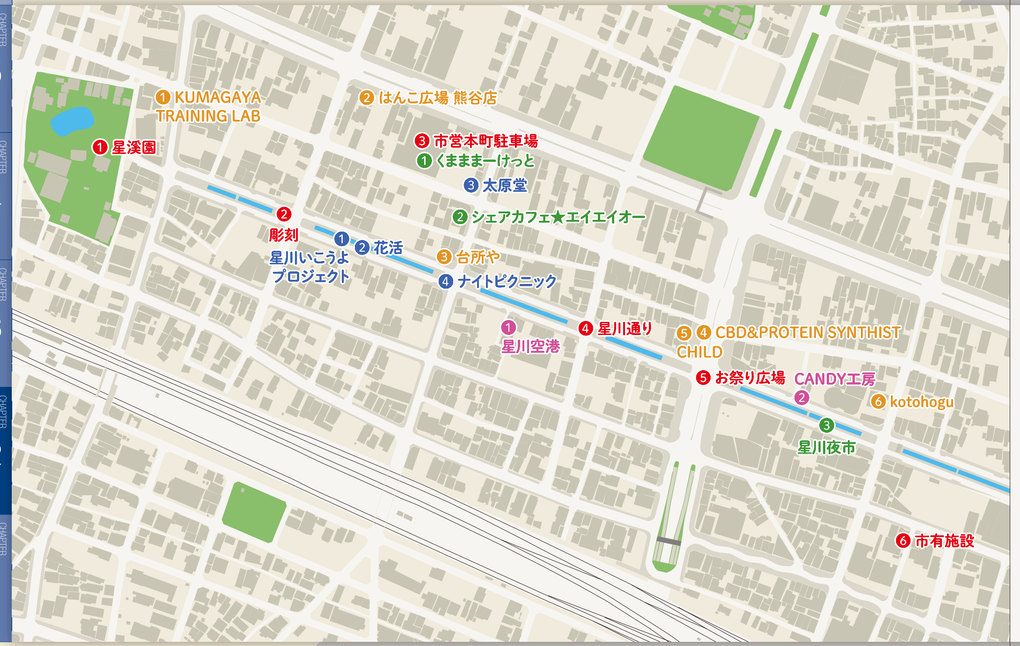
地域における空き家・空き店舗は、現状64件あります。星川沿道には6件と少なく、一本裏手の通りや国道17号沿いに多く見られます。
駐車場については、時間貸し・月極・店舗専用などを含め、全体的に点在しています。国道17号沿いに大きな区画で駐車場や空き地となっているものが目立ちます。星川沿道には、空き地、駐車場が17箇所あり、もともと商店が建っていたところを更地にして、駐車場として活用されている状況となっています。
空き家や空き店舗になると、建物を取り壊し、駐車場として活用する流れが面的に起こっていることが見受けられます。

歩行者・自転車交通量



令和5年は、多くの地点で前年を上回る交通量が計測されており、回復傾向がうかがえます。
星川周辺では、平日に比べて休日の方が交通量の少ない地点がほとんどであり、市役所通りから西のエリアはその差が顕著となっています。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.



星川周辺の新しい動き

熊谷駅周辺の公共財産とNEXT商店街事業、官民連携まちなか再生推進事業、
熊谷市空き店舗等活用支援事業費補助金などを活用した新しい取組と事例

熊谷駅(星川)周辺の公共財産

1 星溪園



2 彫刻



3 市営本町駐車場



4 星川通り



5 お祭り広場



6 市有施設



NEXT商店街事業

1 くままーけっと マルシェ実施
2 シェアカフェ★エイエイオー 飲食店
3 星川夜市 通路占用許可

熊谷市空き店舗等活用支援事業費補助金

1 KUMAGAYA TRAINING LAB（R1年度） パーソナルジム
2 はんこ広場 熊谷店（R3年度） はんこ等販売
3 台所や（R2年度） 飲食店
4 CBD&PROTEIN SYNTHIST（R3年度） プロテイン、CBDオイル販売
5 CHILD（H28年度） スケートボードショップ
6 kotohogu（R3年度） エステティックサロン

官民連携まちなか再生推進事業

1 星川空港 飲食店
2 CANDY工房 飲食店

熊谷・街・妄想ワークショップ

1 星川いこうよプロジェクト 川の占用許可
2 花活 市民活動
3 太原堂 本　屋
4 ナイトピクニック 実証実験



星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

Chapter 3

ビジョンづくりに向けての課題・価値の整理

03

Vision for the future of the Hoshikawa area.

Copyright © HASHIGO DESIGN, All Rights Reserved.

その1

みんなの意見を集めてみよう！

I. 星川エリア関係者にビジョンづくりワークショップによるヒアリングの実施

議論促進を目的に、まちづくり参考ワードを散りばめたヒアリングシートを用意したうえで、各関係者からの自由意見を集いました。R5.7.4～R5.11.30まで、計28団体にご参加いただきました。



- 07/04　星川夜市実行委員会
- 07/14　（一社）熊谷まちなか再生エリアプラットフォーム
- 08/26　熊谷高校硬式野球部
- 08/29　（株）八木橋
- 08/30　星溪園
- 09/05　大露路商店街振興組合
- 09/13　アルスコンピュータ専門学校
熊谷商工会議所青年部
（一社）埼玉県建築士事務所協会熊谷支部
- 09/19　埼玉縣信用金庫
綜合警備保障株式会社埼玉北支社
- 09/20　熊谷市役所職員
東京電力パワーグリッド株式会社熊谷支社
- 09/23　まちかど劇場くまがや座
- 09/25　埼玉建築士会大里支部
- 09/26　星川通中央親交会
熊谷女子高校ソフトボール部
- 09/28　（一社）熊谷市観光協会
この街で生きる「好き」を仕事にした女性たちKUMAGAYA
- 10/01　熊谷・街・妄想ワークショップ
- 10/03　FM.クマガヤ株式会社
- 10/04　（一社）熊谷青年会議所
- 10/05　まちなか交流広場利用者協議会
- 10/07　立正大学
- 10/13　NPO法人エコネットくまがや
- 10/19　ものつくり大学
- 11/30　星川通り商店街振興会

II. 生活のなかで星川エリアに触れている方に「（仮称）星川周辺「将来のまち」ビジョンづくり」アンケートの実施

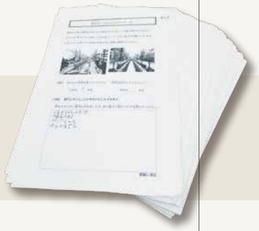
“ここをこうしたらもっと良い！”“これがあったらワクワク！”などの参考意見を収集するためにアンケートを実施しました。R5.9.15～R5.10.24まで、計750名の方にご参加いただきました。

■荒川中学校　■富士見中学校　■熊谷東小学校■熊谷西小学校　■星川周辺の9自治会　■星川通中央親交会　■熊谷商工会議所建設業部会・産業振興委員会　■サーパス熊谷星川通り住人

一般対象アンケート（様式A）

小中学生対象アンケート





一般対象アンケート（様式B）





III. 市民のみなさまにデジタルプラットフォーム「クマぶら」による意見収集の実施

熊谷スマートシティの入り口である「クマぶら」から市民意見を収集しました。R5.10.2～R5.10.22まで、計1,548名の方にご参加いただきました。



星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

その2

みんなの意見を整理してみよう！



STEP 1 ビジョンづくりのキーワードを抽出して分類しカテゴライズしました！

集めた意見から、星川エリアに対する現状のイメージや将来への展望・要望のキーワードを抽出しました。多種多様の内容をビジョンに反映することが目的であり、統計を取ることを目的とはしていないため、同じ意見は同じキーワードとして一つに集約しました。その結果、合計で174個のキーワードとなりました。

LOOK!

星川エリアビジョンカテゴリー

STEP 2 キーワードから星川エリアにある価値と潜んでいる課題を発見しました！

キーワードの中で、星川エリアに対する現状イメージから
◎みんなが資源と思っている場所や要素といった「エリアが持っている価値」
◎みんなが思っているエリアにこれが必要という「エリアが抱えている課題」
を発見しました。エリアマップにその「価値」をプロットし、抱える「課題」を重ねました。

LOOK!

星川エリアの価値・課題

STEP 3 価値や課題の整理を通して場所に潜んでいる星川エリアの性格を分析しました！

エリアが抱えている課題として「にぎわいが無い」イメージが共通しています。そこにエリアが持っている価値が重なると、どうやらにぎわいの在り方が東西で異なるのではないかということに気付きました。これは、これから星川エリアでにぎわいを取り戻すアクションに対する意思決定の一助となるはずです。

LOOK!

星川エリアのにぎわいの在り方



星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

その3-1

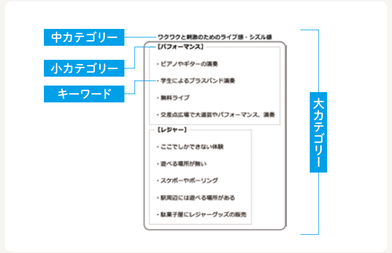
結果を見てみよう！

星川エリアビジョンカテゴリー

1. 星川エリアに対するイメージや将来への展望・要望のキーワードの中で、似た要素を持つものは同じカテゴリーに分類して、カテゴリーを補完できる名前を付けました。
   → 小カテゴリー

2. 少カテゴリーの中で、さらに似た要素であるものがある場合には同じカテゴリーに分類して、それらを補完する名前を付けました。
   → 中カテゴリー

3. 1、2を総括するように各カテゴリーの似た要素を持つものを同じカテゴリーに分類して、星川エリアを考える一助とするために"問いだて"する形式の名前を付けました。
   → 大カテゴリー





星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

その3-2

結果を見てみよう！

星川エリアの価値・課題

キーワードから、みんなが星川エリアにある資源と感じている場所や要素といったものを「エリアが持っている価値」としてマップにプロットしました。また、エリアに対する不満や物足りなさなどは「エリアが抱えている課題」として生の意見を重ねました。この重ね合わせから、資源はあると分かっているのに「にぎわい」が感じられないということに気付きました。



星渓園

熊谷の発展に貢献した竹井翁によって作庭された回遊式の庭園です。荒川の氾濫によりできた「玉の池」を中心に竹木を植え、銘石を集めて設えられました。S25に熊谷市が譲り受け、S29に市の名勝として指定され、H2から園内の整備が行われた際には老朽化した建物を数寄屋感覚を取り入れながら復元されました。園内には3つの建物があり、茶会などの文化教養の場として利用できます。

鯉の群れ

S56に埼玉県の「清流作りのための川に、魚をいっぱいにする運動」の一環として錦鯉が放流されました

うちわ祭・お祭り広場

星川の景観整備でできた7つの広場の中で一番大きな広場です。「うちわ祭」の終着点となり、祭りの盛り上がりを支える立役者となっている場所といえます。

星川とレンガ敷きの通り

玉の池（星渓園）からわき出る清流を源とした星川では、かつては染物を洗ったり子供たちが水遊びをする日常がありました。空襲という悲しい歴史を背負いながらも再興を目指し、市民のオアシスであり熊谷の玄関口とするべく景観整備が進められ、「水と緑と彫刻のプロムナード」として第1回さいたま景観賞を受賞（S62）した経緯もあります。さらに現在は「星川シンボルロード」としての再整備が行われ名実ともに熊谷の顔になっています。路面を彩るレンガは現在では手に入らない希少性もあり、価値を見直す時期にあります。

星川夜市

熊谷近辺の飲食やクラフト、パフォーマーが集まり、毎月第2土曜日に開催されるナイトバザールです。「人と人とのつながりを創出し故郷への愛着を高めていく・星川両商店街を中心とする周辺地域の価値の向上・川の景観を活かしつつ駅利用者を流入させる」を柱に、イベントを超え、皆の日常にすることを狙うアットホームな空間を生み出しています。

彫刻

星川の景観整備でできた7つの広場のうち一番上流にある「いこいの広場」には、北村西望による「戦災者慰霊の女神（S50）」が建立され、その他の各広場にも著名な作者による彫刻が置かれました。これらは駅前の熊谷次郎直実実像とともに熊谷の玄関口として、文化の香り漂う市民のオアシスという印象を強めています。

場所の歴史

［熊谷染］
星川を中心に発展した模様染めの伝統工芸。安政年間のころに細やかな「江戸小紋」の技法、大正期には「友禅染」の技法が取り入れられるなど創意工夫が重ねられ洗練されています。

［とうろう流し］
S20. 8. 14深夜、太平洋戦争最後の空襲により市街地の3分の2が焼き尽くされ、特に星川付近の被害は甚大でした。戦後のS25. 8. 16から犠牲になった人々の霊を慰めるためにとうろう流しが行われ、現在も戦争の悲惨さを忘れないために毎年8月16日に行われています。



資源はあるのに「にぎわい」が感じられないってなぜだろう

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C

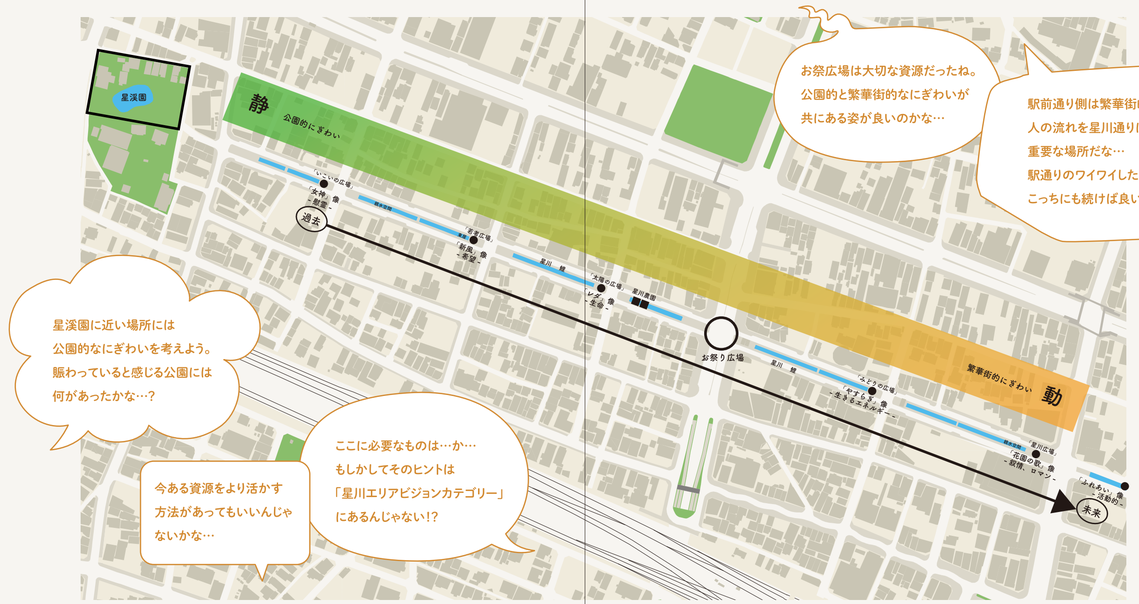
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

その3-3

結果を見てみよう！

星川エリアの にぎわいの 在り方

エリアが抱えている課題として「にぎわいが感じられない」イメージが共通しています。そこで、星川エリアに求められるにぎわいの在り方・種類とはどういったものなのかを、資源のプロットを拠り所に分析してみました。どうやら星川エリアは川方向に東西によってその性格が異なってくるようです。エリアの性格を把握しておくことは、これからのアクションに対する意思決定の一助になると思います。



星渓園に近い場所には
公園的なにぎわいを考えよう。
賑わっていると感じる公園には
何があったかな…？

今ある資源をより活かす
方法があってもいいんじゃ
ないかな…

ここに必要なものは…か…
もしかしてそのヒントは
「星川エリアビジョンカテゴリー」
にあるんじゃない!?

お祭広場は大切な資源だったね。
公園的と繁華街的なにぎわいが
共にある姿が良いのかな…

駅前通り側は繁華街的な場所だね。
人の流れを星川通りに呼ぶための
重要な場所だな…
駅通りのワイワイした雰囲気が
こっちにも続けば良いよね！

にぎわいは全体で均一に必要だが、
その性格はその場所毎で異なる
（「静」と「動」の割合により）のでは？

彫刻の並びが「悲惨な記憶」から
「未来への願い」への順序になっている。
これは静⇄動のグラデーションと
一致しているのでは？

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

Chapter 4

エリアの目指す姿

04

Vision for the future of the Hoshikawa area.

Copyright © HASHIGO DESIGN, All Rights Reserved.

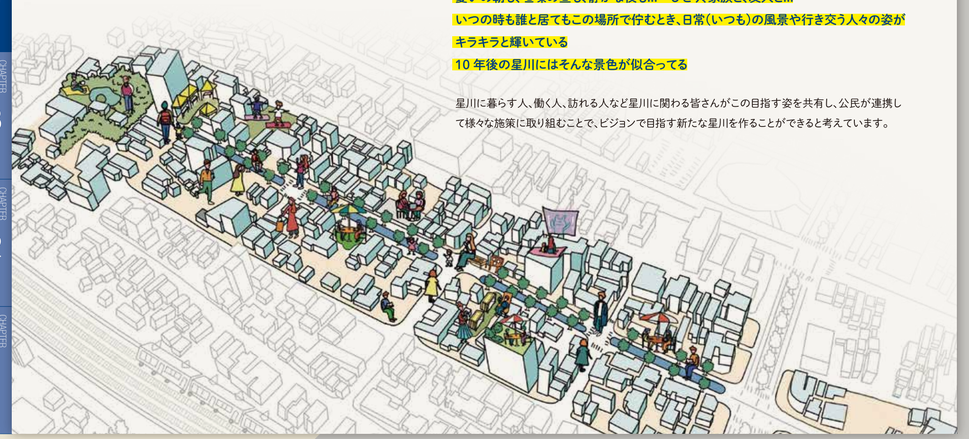
目指す姿

誰もが生き生きと暮らし、訪れる人々が楽しく憩える魅力あふれる空間を、一歩ずつ着実にみんなで考え、つくっていく。その歩みを継続していくことで、新たな星川の姿の実現を目指していきます。
そうした歩みを続けた先にある、星川将来ビジョンで目指す姿は

『水辺の日常（とき）、ヒカル街』です。

憂いの朝も、喧噪の昼も、静かな夜も…　ひとり、家族と、友人と…
いつの時も誰と居てもこの場所で佇むとき、日常（いつも）の風景や行き交う人々の姿がキラキラと輝いている
10年後の星川にはそんな景色が似合ってる

星川に暮らす人、働く人、訪れる人など星川に関わる皆さんがこの目指す姿を共有し、公民が連携して様々な施策に取り組むことで、ビジョンで目指す新たな星川を作ることができると考えています。



ヒカル街の6つのテーマ

星川の未来ビジョンの実現に向けて
アンケートや、ワークショップで得た意見をもとに
6つのテーマを設定します。



星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

01 川と触れ合える



入りたくなる川の環境づくり

星川は水量も多く軽快な流れがあるものの水質は不安定で、苔や藻なども発生しており、環境として改善の余地がある。安定して綺麗な水質を保ち、川に入りたいと思えるような状況を作ることで、星川を観たい、星川に入りたいと思える環境づくりが必要です。



川と触れ合い、遊べる環境づくり

景観的に整備された星川通りであるが、親水広場はあるものの、歩行空間と川面の距離が遠く、また日陰もなく留まりにくい状況となっている。より近く、より快適に川とふれ合い、遊べるような環境にしていくための仕掛けが求められています。



川を活かした魅力づくり

借景としても可能性を秘めている星川で、店舗内の賑やかさが沿道へと滲み出すことでエリア全体へにぎやかさを広げ、面的なにぎやかさへつなげていく、そんな、相乗効果を生み出せる場づくりとコミュニティづくりが必要です。

02 時間を過ごせる



居心地の良い場所づくり

ずっと居たくなるような環境とはどのようなものか、居心地の良い場所であったり、人との距離感が心地よい場所、家族や友達同士と行きやすい環境などさまざまなシーンをイメージしながらベンチやテーブル、パラソル、みんなが使えるトイレなどの場所づくりを考えていく必要があります。



訪れたくなるコンテンツづくり

星川周辺には星川だけでなく、星渓園や寺社、老舗の店舗など現存している地域の資源を新たな視点で活用したり、低利用のスペースを活用することで新たなお店が出店できる余地を作ったりと、星川周辺を目的地としてリ・デザインしていくための仕掛けや取組が求められます。



ここでしか得られない体験や刺激

多くのものがネットで買える世の中で、ここに来なければ得られない体験や刺激は、そこへ行く目的となり、リピーターやファンを作るきっかけとなる。ライブ感やシズル感を都市空間でも個々の店舗でも考えチャレンジしていくことで、また来たいと思える環境づくりにつなげます。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

03 新しい活動が生まれる



若者が立ち寄れる場所づくり

学校の帰りに気軽に立ち寄れるカフェのような自習室があり、そこで友人たちといつでも学べたり、広場で部活の練習をするなど、学生たちにとって活動しやすい環境が星川に求められています。



新たな出会いがある環境づくり

小さな店や個性的な店、星川でしか買えないグッズなど、若い人たちが星川の外からも来たくなるような色々な種類の店があることで、来るたびに新たな発見がある場所、環境づくりが期待されています。



新規チャレンジできる環境づくり

イベント出店や小商い、チャレンジショップといった、新しい人達が地域の中で気軽にチャレンジできるような機会があったり、駐車場や空き地などの地域の資源を活用した場が提供されるなど、地域全体で若い人たちをサポートしてくれる環境づくりをすることで、未来の地域の担い手を育むことが必要です。

04 涼を楽しめる



熊谷らしい日陰や涼のデザイン

熊谷の夏は暑くて有名だからこそ、川と触れ合える環境やミスト、打ち水や緑のドームで効果的な日陰をつくるなど、涼の取り方も工夫を施し、暑さ対策の手本として地域が知られるようにする必要があります。



五感で楽しむ景観づくり

農園の風景が見られるところがあったり、緑に囲まれて涼しげな場所があるなど、視覚的にも心地の良さを感じられたり、川のせせらぎや風鈴の音などで快適さをつくるなど、五感を通した心地よい景観が求められています。



歩いて涼しい川沿いの環境づくり

暑さがしのげる木陰や日陰のしつらえや歩きやすい歩道環境、歩いていて楽しくなる景観や風景、季節のシーンなど、星川沿いを歩きたくなる、歩いて楽しい環境づくりを考える必要があります。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

05 誰でも訪れやすい



安心して暮らせる環境づくり

夜でも飲食店の明かりやイルミネーションなどが通りに溢れていたり、ゴミが散乱することなく綺麗な通りが保たれているなど、子どもから大人まで夜でも安心して暮らせる環境づくりが求められています。



歩行者が安全に通行できるストリート

歩行者が安心して歩ける通りをつくる。スローモビリティやゆとりのある歩行空間、子どもが遊べるスペースや一休みできるベンチ、オープンカフェなどがある通りが期待されています。



車利用の人でも来やすい環境づくり

熊谷は車を利用する人が多いため、まちなかや店先などに無料の駐車場を設けるなどで、車利用の生活者でも星川に立ち寄りやすい環境をつくることで、遠方からも星川に来やすい環境づくりが必要です。

06 まちを知れる



星川のいまが知れる

星川のいまを様々な手段を通じて発信。地域の外に広範囲に届けるためには SNS や WEBでの発信を積極的に行い、また地域の人たち向けには、掲示板やフリーペーパー、コミュニティFMや地域情報アプリなどで直接手に届くような仕組みが求められています。



星川の歴史が知れる

案内板や解説などをデザインすることで、通りを歩きながら星川の歴史的資源や文化を知ることができ、また空き家や空き店舗などの利活用、リノベーションにより、最近までの星川地域での暮らしや住まいなども感じることができます。



星川のこれからが知れる

星川夜市をはじめ、若い人によって星川を盛り上げようとイベントや活動が盛んに行われるなど、誰もがこれからの地域づくりに参加しやすい環境が求められています。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN, All Rights Reserved.

Chapter 5

ビジョンを実現するための
アクション

05

Vision for the future of the Hoshikawa area

Copyright © HASHIGO DESIGN, All Rights Reserved.





ビジョンを実現していくための動き方

ビジョンを実現させていくためには、行政（市役所）だけ、民間だけでは行うことはできません。
時には、行政が先頭に立って進めていくこともあれるかもしれませんが、民間の方とともに考え、情報を共有しながら進めていくことが重要になるかと思います。
このビジョンは、誰かがやってくれるものではなく、関係するそれぞれが主体として関わってくれることを目指しています。
もちろん1 人では実行できない取組も多いかと思います。
意識ある人が関われる機会をつくりながら、みんなで取り組んでいける環境を作っていければと思います。





この図式のように、ビジョンも取組も固定のものではなく、その都度柔軟に変わっていくものであると思います。
みんなで意見を出し合い、アイデアを取りまとめ、実現・実行し、暮らしの中で体験、またそれを踏まえてみんなで意見を出し合う、そんなサイクルを作りながら、より良い星川周辺を作っていくことを目指します。





星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.



アクションのアイデア集

ビジョンの実現に向けて6つのテーマを設定しましたが、それぞれのテーマに掲げた内容を既に実施している事例を参考に紹介します。
星川周辺の将来に向けたまちづくりの参考となればと、みんなで事例を探しました。
なお、各事例の左上の数字は、6つのテーマの該当番号を、右上の「民・官」は、考えられる取組主体を示しています。

01 民 官



山口県長門市／長門湯本地区

川を活かした居場所づくり

河川空間の活用として地元事業者と連携し、水面上に設置された「川床」と河川に張り出す「置き座」の2種類の空間を整備し、公共側では人々が集う「雁木広場」と「飛び石」を設置した。地域の特徴である用水を生かした個性的な街路や沿道が形成され、地域の魅力を高めている。

01 民 官



大阪府大阪市／北浜テラス

水辺を利用した空間

民間企業や地域団体が河川空間の利活用についてアイデアを出しあい、北浜水辺協議会として行政との調整を経て、民間による高業的な水辺の利活用を可能とした事例である。水辺に新たな魅力を創り出すため、民間のノウハウや活力を導入したオープンカフェを実施している。

01 民 官



静岡県三島市／源兵衛川

川の環境を改善し憩いの場所に

生活排水で汚染されていた農業用水路を、地元でNPO法人を立ち上げ、ゴミの撤去、水質改善。また水源が減少するなか、東レの工場で使われているきれいな冷却水を配水することで、ホタルや絶滅危惧種が生存できる環境が復活し、観光地であり市民の憩いの場として甦った。

02 民



埼玉県所沢市／インフラスタンド

私設の公衆トイレ

地域の水道工事業者が、自社のショールームとして機能し、さらに地域や業界に貢献できる場所をつくりたいとのことでつくられた私設の公衆トイレ。通りがかりの人が気軽に休憩でき、トイレの前でマルシェなども行われるなど町のランドマークとなるような場所になっている。

アクションのアイデア集

02 民 官



佐賀県佐賀市／「わいわい!!コンテナ」プロジェクト

まちなかにあるみんなの目的地

空き地を借用して芝生の"原っぱ"に置き換え、中古コンテナを使った雑誌図書館や交流スペースなど持続可能な維持管理・運営の仕組みを検証。昼間の時間を消費する空間を用意したことで、街なかの回遊人口が増加するなど、賑わい再生への効果が実証されつつある。

02 民



群馬県高崎市／恋文横丁

人々が集まるまちなかスポット

群馬県高崎市の青年会議所有志が"有限責任事業組合を結成し、民有地を借りて20店舗ほどの屋台通りを運営。横丁というワードと楽しい気な雰囲気で聞心を集め人々で賑わった。屋台をきっかけにまちなかで本格的な事業を始めるインキュベーション的な役割も担った。

03 民



東京都練馬区／B-Flat COMMUNE

交流と新たなチャレンジの場

2026年までの3年間の暫定活用事業。キッチンカーで料理教室やラジオスタジオまでの情報発信を通じた相互コミュニケーションの場として展開。限られた時間で特有の活動を実施し、近隣から海外の来訪者までを対象に、交流とクリエイティブな価値の生まれる場所を提供する。

03 民



神奈川県横浜市／YADOKARI

駐車場の一部を小商い化し誰でも訪れやすい場所に

コンテナやトレーラーハウスを利用して、リモートオフィスやプライベートジム、サウナなどに活用する事例。駐車場1台分サイズのスモールコンテナもあり、現状区画のまま適用できるものも。契約者以外が駐車場を利用でき、まちのにぎわいを演出する一端を担っている。

03 民



シェア畑

スペースを活かすアイデア

駐車場などを小分けにしながら畑をしたい人たちなどに貸出しを行うサービス。農具、種、苗、水場など栽培に必要なものを完備しているので、"手ぶら"で来園が可能。月極駐車場の通路のような非稼働面積を最小限にもでき、地域のコミュニティづくりにも貢献できる仕組みである。

03 民



PhilPark

駐車場の上空の利活用・収益化

都市部をはじめ全国各地に増え続けている駐車場・空き地・空き家等の未活性空間を、その時代・その場所にあった企画で活性化させていく「空間ソリューションサービス」。駐車場×空中店舗というパッケージで、地主の方はもちろん、地域にも豊かさをめぐらせる新たな空間利用。

04 官



埼玉県熊谷市／フラクタル日除け

自然と調和した涼しさの創出

自然の樹木からヒントを得たフラクタル日除けは、直射日光を遮ることで、地表面の温度上昇を防ぎ、快適な環境を維持する。また、日除け自体の温度上昇を抑えることで、熱の輻射を最小限に抑える。さらに、自然の樹木のような景観を提供することで、環境配慮も実現する。

04 民



島根県松江市／由志園

幻想的な世界を演出

庭園内に約500mにわたるノズルを設置し、ミストを噴射。庭園を包み込むように漂い、訪れる人々に涼しさを感じさせるだけでなく、まるで雲海に包まれたかのような幻想的な雰囲気を演出する。特に暑い季節や日差しが強い日には、心地よい涼しさを提供している。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

アクションのアイデア集

04 民



埼玉県鳴山市／空家スイーツ

緑の創出と季節を楽しむ

鳴山ニュータウンの空き家の庭で育った果物を活用。コンセプトは、「庭のある生活の豊かさ」を伝えること。近隣住民から提供される季節ごとの果物を使用し、その素材の味を最大限に引き立てたお菓子を製作。地域の果物の価値の再認識とコミュニティの活性化に寄与している。

05 民 官



兵庫県神戸市／KOBEパークレット

公共空間を利用した居場所

公共空間である広場や歩道を交通規制をすることで、安心安全に公共スペースを利用。オープンテラスやオープンカフェは屋外へ滲みだした席があり、屋内の賑わいが街に活気を与える。ウッドデッキやパラソル、植栽の整備で開放感のある雰囲気が街に彩りを提供してくれる。

05 官



東京都葛飾区／グリーンスローモビリティ

ちょっとの移動が楽しくなる仕組み

時速20キロメートル未満で公道を走ることができる電動車「グリーンスローモビリティ」の実証実験。地域での買い物など様々な地域の活動に活用されている。高齢などの理由で移動に不便を感じている方でも気軽に利用することができ、地域活性化などの効果が期待されている。

05 官



愛媛県松山市／ロープウェイ通り

家族で安心して歩ける道

車道を1車線化し、歩道幅員を拡大する道路空間の再配分を実施。無電柱化とともに、沿道の店舗看板の統一化や道路附属物の修景、舗装の美装化を実施。整備前に比べ歩行者交通量が約3.5倍に増加。事業供用後、全国でもトップクラスの地価上昇率(12.6%)を示した。

06 民 官



福岡県福岡市／We Love天神協議会

まちの将来像の共有

地区の関係者が共有できる「将来の目標像」とその実現を図るための「戦略」、及び具体的な活動である「施策」で構成されたまちづくりガイドラインを策定。また、継続的・発展的な活動を推進するために「アクションプラン」を3年ごとに策定し、定期的に評価、検証している。

06 民 官



兵庫県加古川市／Decidim

『まちをこうしたい！』をみんなで考えられる

オープンソースの参加型合意形成プラットフォームである「Decidim」を導入し、施設の愛称募集や河川敷の利活用アイデア募集など様々なテーマで市民との活発な意見交換や提案に活用している。公的機関、民間企業にかかわらず、まちに関心のある方であれば誰でも投稿可能。

06 民



山形県鶴岡市／歴まちmeeting

まちの成り立ちを知れる

地元有志でつくる実行委員会がまちなかにある歴史的建築物の保存と活用を考える企画。休業した鶴岡ホテルを地元建築士が案内するツアーや高校生によるお茶の提供が行われた。まちへの関心を高める活動としてだけではなく、世代間交流の場としても貢献している。

00 民 官



愛知県幸田町／幸田駅前銀座(広場)

小規模で柔軟な区画整理

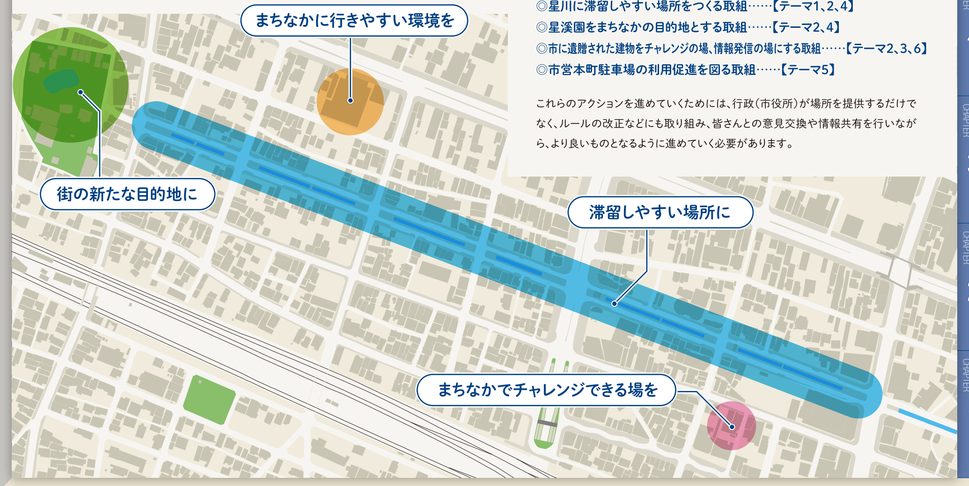
まちなかに点在する空地や低未利用地を土地区画整理事業により都市基盤整備施設と併せて集約。この取組により、まちの顔となる賑わい施設や広場が整備され、地域の活性化が図られている。地域住民の交流や文化活動の場が拡大し、地域経済の活性化にも寄与している。

資源を活用してアクションをおこそう

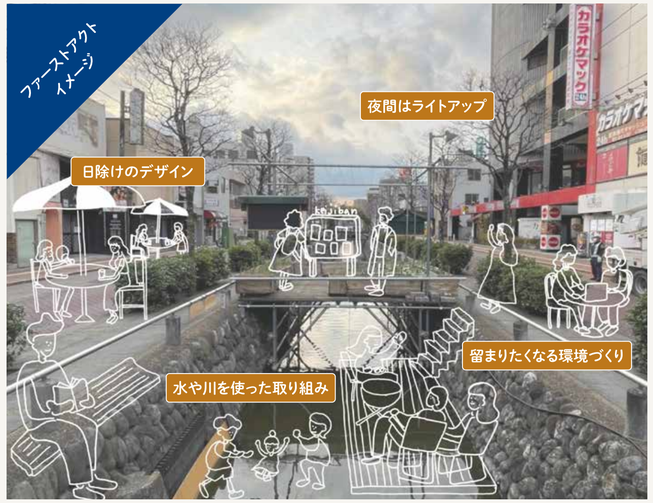
星川周辺にある資源を活用して、ビジョンを実現するための4つのアクションを紹介します。まちづくりの6つのテーマにかかる施策の第1歩(ファーストアクト)として、まず、この4つのアクションに取り組み、居心地が良く歩きたくなる空間の創出にチャレンジしていきます。

◎星川に滞留しやすい場所をつくる取組……【テーマ1、2、4】
◎星渓園をまちなかの目的地とする取組……【テーマ2、4】
◎市に遺贈された建物をチャレンジの場、情報発信の場にする取組……【テーマ2、3、6】
◎市営本町駐車場の利用促進を図る取組……【テーマ5】

これらのアクションを進めていくためには、行政(市役所)が場所を提供するだけでなく、ルールの改正などにも取り組み、皆さんとの意見交換や情報共有を行いながら、より良いものとなるように進めていく必要があります。

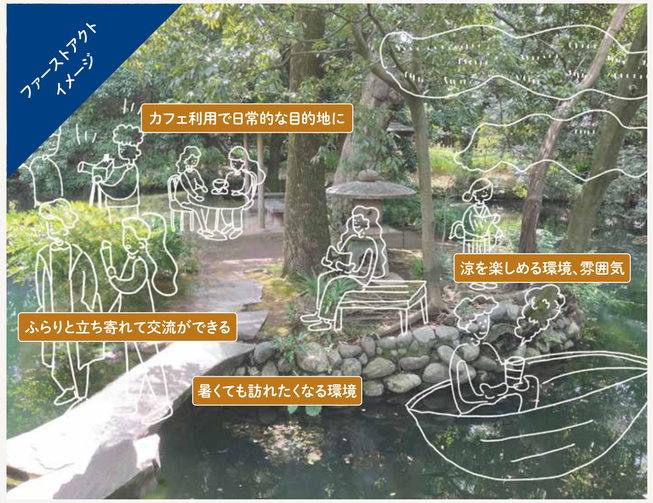


星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.



星川通り

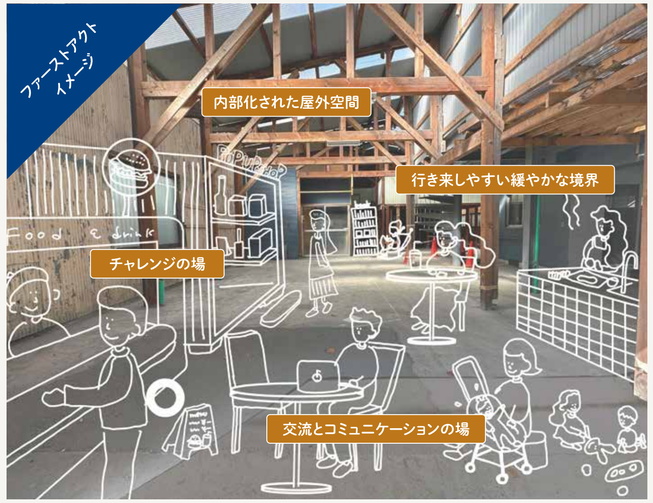
星川通りでは、現在、車道の美装化が進められています。また、広い幅員の中には、レンガ敷きの歩道のほか、中央部には星川が流れ、彫刻が設置された広場があり、より一層、魅力的で活力のある都市空間としていくことが求められています。居心地が良く、歩きたくなる環境とするためには、星川沿道に多様な人が集い、交流、滞在する「まちなかハブ」としての環境づくりを進めていく必要があります。まちなかハブの箇所としては、既存の整備箇所（親水広場、東屋）のほかに、県道熊谷駅停車場線側の星川エリアに駅前通りからの人流を引き込めるように、滞留空間としてのまちなかハブの新設を進めていきます。



星渓園

まちなかにありながらも、静寂さのある星渓園を、星川通りから続くウォーカブル空間の一つとして、散策の目的地化することを目指します。そのため、「まちなかハブ」として、既存建築物の一部を活用し、オープンテラスを設置するなど、見栄えが良く、気軽に立ち寄れる環境づくりを進めます。また、夕涼みのために訪れたくなる、歩きたくなるように、照明設備でライトアップしたり、涼を得るための雲海ミストを庭園で定期的に実施したりするなど、質の高い、ここでしか体験できない環境づくりを行います。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.



市有施設（筑波2丁目）

熊谷駅から星川通りまでの間に位置する市に遺贈された物件の一階部分を滞留空間形成のために、暫定的に利活用することを計画していきます。目的は、駅から星川へと新たな人の流れを創ることです。そのため、この物件を目指してやってくる、または、行きたくなる空間として整備する必要があります。そこで、商業エリアに位置するこの物件を滞留空間となる「まちなかハブ」として整備するとともに、チャレンジショップとしての飲食スペースなども併設させることで新規小商事業者の創出とともに、滞留空間としての質を向上させていくことをねらいます。



市営本町駐車場

「車でも訪れやすい星川」を目指し、市営本町駐車場のあり方を検討していきます。現状では、周辺企業に勤める方や、学生などの利用が多いですが、営業時間の延長や駐車料金の一部無料化なども検討しつつ、駅への通り道ではなく、星川を楽しむための駐車場としての活用を進めていきます。また、星川周辺で開催されるイベントなどに家族連れで気軽に参加できる環境づくりを行うとともに、現在使用していない屋上階や未利用階をイベントに利用するなど、市営本町駐車場の価値を星川周辺への活性化の一つとして、見直していきます。

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN, All Rights Reserved.

タイムスケジュール

星川の将来のまちづくりに向けて、6つのテーマを設定しましたが、テーマごとの主な取組を時系列（短期：3年以内、中期：3～6年、長期：6年以上）に分け、次のようにまとめてみました。
なお、今回のビジョン作成時のものですので、今後、「みんなで考え」「みんなで実施」を目指す中で、随時、見直しを行っていく必要があります。



星川の将来のまちづくりに向けた財源の検討

将来のまちづくりの実現のためには、皆さんの協力のほかにも財源が必要となります。
そこで、活用が考えられる主な財源について、次のとおりまとめてみました。

まちなかウォーカブル推進事業

国土交通省の交付金

▼

まちなかウォーカブル推進事業は、熊谷市が作成する都市再生整備計画（ウォーカブル計画）に対するパッケージ支援です。市がまちづくりの目標や指標、滞在の快適性の向上を図る区域、目標達成のために必要な都市基盤の整備・都市施設の整備・関連するソフト事業等を計画に位置付けることで、計画に基づく事業に対し、国費の支援を受けることができます。

https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001604838.pdf

熊谷市空き店舗等活用支援事業

市の補助金

▼

熊谷市空き店舗等活用支援事業は、にぎわいあふれる商店街をつくるため、空き店舗等を利用して事業を始める方を対象に、市が出店の支援をするものです。

［補助対象経費］
内外装・設備工事・開業費用

［補助金上限額］
50万円

https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/sangyo/shogyokanko/s-oshirase/akitenpo.html

ガバメントクラウドファンディング®

ふるさと納税型クラウドファンディング

▼

ガバメントクラウドファンディング®は、ふるさとチョイスがふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングです。市が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。

https://www.furusato-tax.jp/gcf/about

まちづくりファンド

MINTO機構のマネジメント型まちづくりファンド支援業務

▼

一般社団法人民間都市開発推進機構（MINTO機構）と埼玉縣信用金庫が連携して「まちづくりファンド」を組成し、このファンドからの出資・社債取得を通じて、リノベーションによる民間まちづくり事業を一定エリア（熊谷市は星川周辺地区）において、連鎖的に進めることでエリアの価値向上を図りつつ、地域の課題解決に貢献するものです。

MINTO機構
https://www.minto.or.jp/products/support/management/

埼玉県信用金庫
https://saishin-bizfair.jp/fund.html

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C
Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

IDEA NOTE　街の将来のために、妄想してみよう！

CHAPTER 5
CHAPTER 4
CHAPTER 3
CHAPTER 2
CHAPTER 1

星川将来ビジョン
size/ 仕上がりA4ヨコ(w297×h210mm)_プロセス4C

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.

星川将来ビジョン（第1版）
2024（令和6）年3月

星川将来ビジョン編集委員会

コトラボ合同会社
植松 敦史
真島 瞬
森 智弘
永田 賢一郎
（一社）星川エリアマネジメント
八木 重朝
八木 奈都子
熊谷市商業観光課
ビジョン作成にご協力いただいた皆さん

デザイン：髙橋 栄一
イラスト：チヨダアヤカ

Copyright © HASHIGO DESIGN. All Rights Reserved.